

# 腹腔鏡下胃全摘出術を受けられる患者さんへ

患者ID  
氏名

担当医  
担当看護師  
配布日

	1病日	2病日	3病日		4病日	5病日	6~7病日	8病日	9~12病日:退院	【退院後の生活について】
	手術2日前	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3~4日目	手術後5日目	手術後6~9日目	
達成目標	・手術の経過について理解できる ・37.5度以上の発熱がない			・呼吸状態が安定している ・重症不整脈がない  ・イレウスの症状がない ・吐血・下血がない ・創部の出血、発赤、腫脹がない ・痛みによる苦痛がない			・ダンピング症状について理解できる	・退院指導の内容を理解できる		・活動の制限はありませんが、仕事を始める時期については、医師に相談してください  (食事について) ・退院後1ヶ月は、油物は控え、パン、牛乳、ヨーグルト、卵、チーズ、豆腐などの少量で栄養価の高い、消化の良い食品を選んで摂取してください ・退院後2ヶ月程度は、1日の食事を6回に分けて食べてください ・食べた物の逆流を予防するために、食後30分~1時間は座ったままの姿勢で過ごし、横にならないでください ・吐き気や腹痛などの症状がある時は、1回の食事を減らしてください ・食後にめまいや冷や汗、動悸などの症状がある時は、1時間程度、座って過ごしてください ・手足の震えや脱力感などの症状は、低血糖症状ですので、甘いものを摂取してください ・飲酒は控えめにしてください  (入浴について) ・創部は泡立てた石鹸でなでるように洗い、シャワーで流した後は、押さえ拭きしてください  以下の症状がある時はご連絡ください ・創部が化膿したり、赤く腫れる ・強い腹痛 ・めまい、冷や汗、気分不良などの症状が続く ・38度以上の発熱
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します									
手術			手術							
注射			・点滴をします				・点滴を抜きます			
検査	・採血 ・身長・体重測定			・採血	・採血 レントゲン	・採血 レントゲン	・採血/胃透視 (手術後3日目)	・採血 レントゲン	・採血(手術後7日目) ・体重測定	
処置		・除毛をします ・おへそをきれいにします  ・寝る前に下剤を内服します	・弾性ストッキングを着用します	・手術室で尿の管を入れます  ・フットポンプをつけます	・尿管を抜きます	・尿管を抜きます  ・フットポンプを外します ・弾性ストッキングを脱ぎます	・尿管を抜きます			
食事	・制限はありません	・夕食後は、指示された時間からは、水分や食事を摂らないでください	・指示された時間からは飲食できません	・絶飲食です		・医師の指示後、少量の飲水から開始します	・透視検査後、昼より食事を開始します。状態に合わせて食事形態を変更します			
活動・安静	・制限はありません		・病棟内でお過ごしください	・ベッド上安静です。排便時や体の向きを変えたい時は、ナースコールでお知らせください	・制限はありません ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください					【緊急連絡先】 ・平日時間内(8:30~17:00) 消化器外科外来 : 0985-85-9885 総合予約室 : 0985-85-1225
清潔	・シャワー浴ができます	・除毛後にシャワー浴をしてください	・肺炎予防のため、手術前までに歯磨きを済ませてください	・医師の許可後、看護師の介助で、歯磨き、顔拭きをします	・身体を拭きます			・シャワー浴ができます		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します						・食事が開始になる際には、「分食」について説明します	・退院後の生活について説明します		・土日・祝日、時間外 3階東病棟 : 0985-85-1769
その他	・同意書は職員にお渡しください ・爪を切り、マニキュアは落としてください ・お化粧品は落としてください		・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、各自保管してください。必要時、メガネと補聴器は手術室までつけて行けます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は3階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください						

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。